

一般社団法人 おおさき青年会議所

2026年度 花火事業推進委員会 基本方針

花火事業推進委員会委員長 平 優弥

1. 基本方針

地域社会におけるまちづくりは、行政や企業、市民団体など多様な主体が互いに協力し合うことで、より大きな成果と喜びを生み出すことができます。おおさき花火大会もまた、市民に愛され続けてきた夏の風物詩として、幅広い協力関係に支えられてきました。一方で、人口減少や物価高騰、担い手の減少など社会情勢の変化が進む中で、これまでの形を見直しながら新たな連携や工夫が求められる時代を迎えています。社会環境の変化に対応しながら、関わるすべての人々が互いに価値を感じ合える協働の輪を広げ、持続可能な大会運営へ繋げていく必要があります。

まずは、地域市民にとっての誇りと一体感を育む花火大会を実現するために、実行委員会を設置し、多様な関係主体との信頼を重ねることで、花火大会を実効性高く安心安全に運営する基盤となります。

そして、花火大会を持続的に継承していくために、協賛の意義を深く理解し、手順の流れや役割の認識を高める場を設けることで、会員一人ひとりが準備段階から当事者としての意識を持ち能動的に事業へ参画する姿勢が醸成されます。

さらに、花火大会の成功を支える統一した行動体制を築くため、説明会で各会員が自らの役割と全体の流れを的確に理解し、当事者として主体的に行動する意識が高まることで、組織としての結束力が一層強化されます。

おおさき花火大会は市民に深く愛される夏の原風景として輝きを保ち、地域住民や他団体との信頼が重ねられる中で会員一人ひとりが主体性を発揮し、安心と笑顔に包まれた大会の姿が地域の誇りとして、脈々と受け継がれる結束とともにまちの文化として次世代へ継承します